

【元町商店街】

開港当時外国人居留地と山手居留地の中間に位置し、外国人御用達の店が集まったことから始まったショッピングストリート。町名は開港に際し元の横浜村を移したことから名付けた。

【山下公園】 (面積 74,121m²)

1923年(大正12年)9月1日に起きた関東大震災の復興事業のひとつとして瓦礫や焼土を埋め立てて造成された、日本で最初の臨海公園として1930年(昭和5年)に開園。戦後はアメリカ軍によって接收、1954年(昭和29年)から少しずつ返還され、1961年(昭和36年)には再整備が完了、ほぼ現在の姿となる。

【開港の道】 (山下臨港線プロムナード)

海岸通地区に残っていた旧臨港鉄道高架を利用した散策路。臨港部を辿る散策ルートを「開港の道」とし2002年春に設定。

【大棧橋】

3万トクラスまでの客船は4隻、それ以上客船は2隻の同時着岸が可能。 地下1階、地上2階建て・鉄骨造建物の長さ約430m、最高高さ約15m、幅約70m 全体床面積 約44,000m²
2002年完成。 建物設計者はイギリス在住の建築家。

【象の鼻】

大棧橋の根本から湾に向かって微妙な曲線を描いて伸びる突堤。横浜港開港に際して幕府が築いた二本の石組み突堤の内、当時イギリス波止場と呼ばれた外国貿易用の東側突堤に1866年(慶応2年)の大火の後、湾曲する形で拡張された部分が、「象の鼻」。

【赤レンガパーク】

赤レンガ倉庫は、明治末期から大正初期に横浜税関の模範倉庫として建設。2002年(平成14年)4月に赤レンガパークとして公開。